

平成27年度

東日本大震災アーカイブ 国際シンポジウム

地域の記録としての震災アーカイブ
～未来へ伝えるために～



2004年のスマトラ沖地震による津波の被害を語り継ぐために 2011年に開館したアチェ 津波博物館

2016年1月11日[月・祝]
13:00～16:30(開場12:30)

参加費無料
定員200名

会場

東北大学災害科学国際研究所棟1階多目的ホール
(宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1)

地下鉄東西線「青葉山」駅下車「南1」出口徒歩3分

※「青葉山」駅は仙台駅から地下鉄東西線で9分

主催

東北大学災害科学国際研究所、国立国会図書館



国立国会図書館
National Diet Library, Japan

平成27年度

東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム

プログラム

特別講演

【博物館における教育・研究活動と災害アーカイブの統合ーアチェ津波博物館におけるアチェ津波デジタルアーカイブ (DATA)ー】

Integrating Disasters Archives into Museum Education and Research: The Digital Archives of Tsunami in Aceh (DATA) at the Aceh Tsunami Museum



トミー・ムリア・ハサン氏

アチェ津波博物館館長

アチェ・ニース復興庁、大統領府室管理災害環境局等を経て 2015 年より現職

事例報告

【青森震災アーカイブについて】

八戸市防災危機管理課主事 漆戸 啓二 氏

【東日本大震災アーカイブ宮城について】

宮城県図書館副館長 菊地 正 氏

【浦安震災アーカイブについて】

浦安市立中央図書館奉仕第2係係長 白沢 靖知 氏

進捗報告

【岩手県における震災アーカイブの現状】

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

【ポータル(入口)としての国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」】

国立国会図書館電子情報部主任司書 諏訪 康子

【社会の減災を指向する災害アーカイブと災害伝承ー「みちのく震録伝」と震災発生から5年目の災害科学的アプローチー】

東北大学災害科学国際研究所助教 佐藤 翔輔

パネルディスカッション

【地域の記録としての震災アーカイブ
～未来へ伝えるために～】

上記事例報告者及び進捗報告者

地域の記録としての
震災アーカイブ
～未来へ伝えるために～

2016年1月11日[月・祝]

13:00～16:30(開場12:30)

申込方法

平成27年12月25日(金) 17:00 までに、
下記「みちのく震録伝」トップページ掲載のシンポジウム
案内からリンクしている「参加申込みフォーム」にてお申し
込みください。

定員に達した時点で受付を終了します。

「みちのく震録伝」
(<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>)



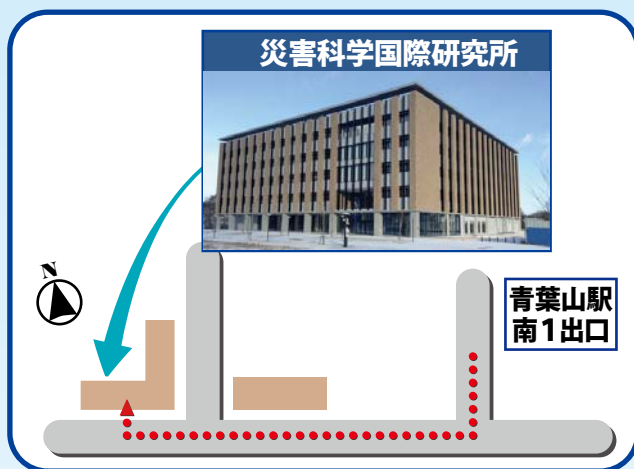
問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門
災害アーカイブ研究分野

電話：022-752-2099

メールアドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

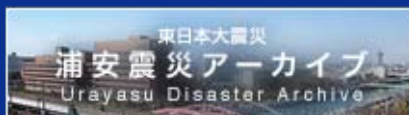
※シンポジウムの詳細については、
「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。



青森震災アーカイブ

東日本大震災を風化させず、
教訓を次の世代へ伝える為に

東日本大震災アーカイブ宮城
～未来へ伝える記憶と記録～



東北大学アーカイブプロジェクト
みちのく震録伝

ひなぎく
NDL東日本大震災アーカイブ